

小樽間税会 会長賞

小樽市立桜町中学校 1年

山田 凱翔

感謝すべき、安堵の基

私は、たくさん聞く「税金」についてあまり知りませんでした。私は税金は大人が納めるもので、自分には関係があると思っていませんでした。そのため税金には、どのような役割があるのか、くわしく考えたことはありませんでした。しかし、私も買い物をしたとき、消費税という税を納めていることに気がつきました。自分も税を納めていることを改めて知り、この機会に税金はとても大切で、何より感謝すべきものだ気がつけました。

まず、税金が無くなった場合環境はどうなるのかと思いました。もしそうなってしまうと、年金・医療などの社会保障・福祉や、水道、道路などの社会資本整理、教育、警察、防衛といった公的サービスがなくなってしまうと分かりました。これは私達にとってとても苦痛で、生きる上で自由が失われるようなものです。そのため、税金があるからこそ今の私達があって、今の環境ができているのだと知ることができました。

また、世界の国々と比較したとき、どのような違いがあるのか気になりました。例えば消費税率をイギリスと比べたとき日本は現在10%ですが、イギリスでは、20%と二倍の差となっています。では、世界全体では、どのようになっているのか？と思い、調べてみました。世界の消費税率の平均で比べてみると、世界の平均は17%でした。日本は世界の平均より7%も下回っています。高い消費税の国は社会保障が充実しているとも言われています。今の日本の消費税率で今後の社会保障が維持できるのか不安だと思いました。

そして最後にどのように税金が集められ、どのようになっ使われるのか気になりました。はじめに、税金は五十種類程あるということを知りました。国民から幅広く集められた税金は国民の社会保障のためなどに使われます。これらの税金の管理は財務省が行います。また財務省だけでなく、地方自治体でもそれぞれの街を良くするために使い道を考えています。そのため、税金は自分だけではなく、たくさんの人が関わり、集めた

り、使ったりしているのだと分かりました。

このように、税金は日本の国民生活を支える一つということが分かりました。だからこそ私達は、毎日安全で安心できる生活が成り立っているのだと思いました。私はこの機会を通して、今不自由なく幸せに生活できていること、また国民の気持ちや意見を聞き私達に見合った使用をしてくれる国や地方自治体、何も知らない私のためにがんばってくれている人達に改めて心から感謝の気持ちになりました。

今後税金を納めることになるので、今回学んだ事を忘れず、また関心を持って税と向き合いたいなと思いました。